

様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都北区桐ヶ丘 1-3-9-101
園名	桐ヶ丘保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色、光

<テーマの設定理由>

0歳児の頃から光遊びを提案しており、こども達の中で水やカラーソロファンなどの反射（光遊び）に興味を持つ子が多かった為

2. 活動スケジュール

6/10, 7/28 光遊び
紙に色絵の具でペイントをし、上から光を透かして光っているように見える遊びの提案をする
8/21 二回目の光遊び
前回とは別の形で提案。紙皿にホログラムシールを貼り、物が光っている遊びを提供する
9/29, 10/14 三回目の光遊び
立体物として制作へ発展させ、光の反射の異なりを感じられるように提案する

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

一回目…和紙、食紅、絵の具、皿
二回目…ホログラムシール、色鉛筆、色筆ペン、紙皿

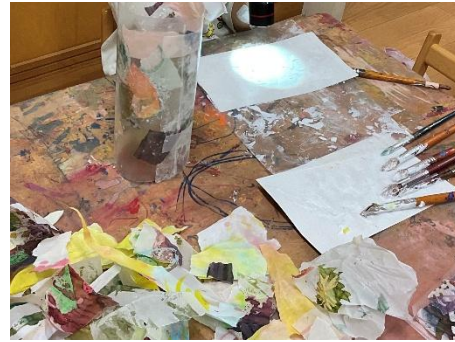
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・紙に色絵の具を塗って光に当てて、光っているように見える遊びを楽しむ
- ・紙皿にホログラムシールを貼り、光の反射を楽しめるように提案した

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・一回目の活動後に玄関ライト下にタープのようにして飾ると「光ってるねえ」という言葉が聞こえる。
- ・二回目は色鉛筆を二本使って描いたり、さまざまな色や道具（筆ペンも）を使って線や点を描いて楽しんでた。自分の指や手のひらに塗って「ペタ」と紙皿に手を当てて塗ることを楽しむ姿があった。また、光り方の異なるホログラムシールを何種類か用意したことで子どもが選択的に、自由に表現活動を楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

子ども達がどのような遊びに興味や関心を寄せているのか、普段の遊びから常にアンテナを張ってキャッチしていくことの大切さを改めて感じた。子ども達の思いに寄り添うことを一番にしながらも、その柱がぶれないことで、美術講師とのやりとりもスムーズで、担任としても共通認識を持って遊びを提案していった。

「見守る」という意味の捉え方の難しさを感じる場面がある昨今の保育現場の中で、目や心を込めることはするが、手を出し過ぎない保育（子ども主体で選択的な保育の在り方）も時には必要であると感じた。

ただ、一方で保育者も一緒に遊びの世界に入り込んで楽しむ姿があることで、子ども達も安心して、夢中になれる環境になったと考えている。

様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都北区桐ヶ丘 1-3-9-101
園名	桐ヶ丘保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

紙、光、色

<テーマの設定理由>

様々な素材を自由に使用して製作活動をしている美術活動を活かし、「紙」をテーマとして設定する。
1歳児クラスの最後の製作で使ったお花紙を進級してからさらに深い興味を持つきっかけとして。

2. 活動スケジュール

5月 お花紙で遊ぶ 6月 粉と粘土で遊ぶ 7月 お花紙で遊ぶ②
8月 粘土とお花紙 9月 大きな紙にいろいろな道具で描く 10月 コラージュして遊ぶ
11月 ○△□のスタンプで描く 12月 ○△□の組み合わせと光で遊ぶ

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

お花紙、網や茶こし、ソフトパステル、Kクレイ粘土、でんぷんのり、段ボール、
木材、障子紙、色画用紙、絵の具、筆、スタンプ、綿棒、いろいろな形や色の画用紙、シール、色鉛筆、
透明のシート、○△□のシールや紙、マジックペン、懐中電灯 等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

お花紙をちぎったり丸めたりして遊ぶことから始める。
様々な素材を組み合わせることで形や固さが変化することを体感する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

溶けたお花紙を色水のジュースにする姿や、カップに詰めて型抜きや塊を作って遊びながら、だんだんと感触や見た目が変わっていくお花紙の変化を楽しんでいた。料理や飲み物等のごっこ遊びも行っていった。

K クレイ粘土の伸びる特性を楽しむ姿があった。感触をそのまま楽しむ子も多かったが、違う子が紙を埋めたり、飾ったりしている作品を大人が見せたことで、刺激を受けて自分なりに色々試してみようとする姿に変わっていった。夏らしくかき氷や花火などに、作品を例えて自慢気に見せる姿もあった。

絵の具を使用した際には、フィンガーペイントに夢中になる子や、紙の上で足を滑らせながらダイナミックに楽しむ子がいた。ガラス窓に筆で描くことにも発展していた。

太陽、綿あめ、エレベーター、乗り物など自分なりにイメージしたものを描こうとする子や、形よりも色に関心が強く、自分だけの色作りに夢中になっていた。普段とは違う素材に描くことができた為、選ぶ楽しみを感じて積極的に手を加えていた。光で遊ぶ体験も新鮮で発見を楽しんでいた。



5. 振り返り<振り返りによって得た職員の気づき>

5月 ちぎり紙や水遊びなど、全体的によく参加していた。見慣れない道具を自分なりに試しながら使ってみたり、カップでの型抜きの仕方を真似てみたりなど、実験的に楽しんでいた。

6月 絵の具がつくとすぐに洗いたがる子がいるが、粉であればベタつかず不快に感じづかったのかよく集中していた。削るという行為を日常で体験することがあまりない為か、削ること自体や削った色付きの粉は特に魅力的に感じたようであった。

7月 素材を全身で感じ体験することで周りの人と共感しつながらうしたりする姿の方が印象に残った。

8月 一人でじっくりと素材の変化や感触と向き合う時間になっていた。互いの作品を見せ合うと、それぞれの表現の幅が広がり、もっとやってみたいという意欲や面白いという発見にもつながったように感じた。

9月 夏の様々な感触遊びや水遊びも経て、開放的に素材と触れあっている姿が見られた。お花紙が登場すると、前の遊びを思い出して楽しかった記憶がこども達の中に残っているのを感じた。

10月 紙が破けてもこどもにとっては失敗ではなくそこからの変化や発見を楽しんでいたと感じた。

11月 「楽しいからやってみよう！」と友だちと一緒に味わいたい、共有・共感したいという姿があった。言葉だけでは伝わらない感覚も、一緒にその瞬間に同じように体験することで分かち合うことができる。体験を通して、他者とつながっている時期なのだと感じた。

12月 光を当てることで、影や色の見え方など、様々な現象や変化があり、こども達の表情から楽しさが伝わってきた。今後も実験的に五感を使って楽しむ体験を取り入れたい。

様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都北区桐ヶ丘 1-3-9-101
園名	桐ヶ丘保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色と遊ぶ、形で遊ぶ。

<テーマの設定理由>

イメージしたものを形にする。そこからの見え方を自由に見つけ楽しむ。

2. 活動スケジュール

8月・9月 泡を作る、色で遊ぶ。

10月 色と遊ぶ、形で遊ぶ。

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

K クレイ粘土、色粘土（赤・青・黄）、粘着付き透明板、割り箸、スプーン、懐中電灯（小）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

赤、青、黄色の紙粘土を自由にちぎったり、混ぜたりしながら透明版にのせていく。それに光を当ててみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

様々な色の粘土を混ぜ合わせて、頭の中でイメージして形を作り上げることを楽しみ、それをフィルムに貼って懐中電灯で光を当てていた。保育者が電気を消そうとしたが、Aは「机の下が暗いから見てみる」と机の下で光を当てていた。「黄色の粘土を光に当てると白くなるね、こっちは黄色のままだ」と光の当て方で見え方が違って見えることを発見して、それを周りに共有していた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

それぞれイメージしたものを形にする、どのようにしようか考える、そこからのワクワクは無限大。
作ったものをそこで終わりにするのではなく、どのような見え方があるのか、発見を楽しむって改めて大切なことだと感じる。
自由な表現、自由な見方など枠にとらわれずに自由を楽しんでいきたい。



様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都北区桐ヶ丘 1-3-9-101
園名	桐ヶ丘保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

紙

<テーマの設定理由>

園の美術活動で「みんなで描く」ことを行った中で、障子紙が絵の具の水分によって破れた現象を体験した。紙の特性について、子ども達の興味関心をさらに深めるため設定する。

2. 活動スケジュール

- ・5月13日 障子紙
- ・6月2日 色々な紙、素材 「紙で遊ぶ」
- ・7月22日 様々な種類の紙で身に着けるものを作ってみよう。

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材及び道具）

- ・障子紙、オイルパステル、絵具（5月）
- ・様々な紙（身近なものも含む）、ホチキス、穴あけパンチ、マジックペンなど（6月）
- ・トレーシングペーパー、花紙、柄付き折り紙、紙皿、紙テープ、マスキングテープ、レースペーパー、紙紐、紙袋、紙コップ、紙ストロー、のり、水性ペン、はさみ（7月）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・5月テーブルサイズにカットした障子紙を貼った上をオイルパステルと絵具で自由に着色する。
- ・6月白色の様々な紙（画用紙やキッチンペーパー等）の素材そのものを触れて違いを感じながら制作を楽しむ。
- ・7月様々な種類の紙を用意し、子ども達が見た目や触り心地から作りたいものをイメージして紙を選んでいく。作ったものを自分で身に付けて楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・ 5月13日

赤、青、黄色の3色から使いたい色を使い、オイルパステルの上を絵具で塗り楽しむ。電車の線路に見立てたり、色を塗りながら筆を自分に見立てた鬼ごっこを障子紙の上で楽しむ姿が見られていた。

・ 6月2日

様々な紙が机の上に広がっている。「紙と遊ぼう！」と声をかけるとこども達が紙を触りだす。触ってみると「模様がある」「凸凹してる」「(指でひっかいてみる)音がする！」と気づきの声がある。コーヒーフィルターを見て被ってみて「帽子みたい」という子もいた。凸凹している紙にクレヨンで色で凸凹感をより感じて楽しむ姿もあった。描く、色をつけるだけでなく、折ったり、道具を使ってくっつけたりして遊びをさらに深めていた。

・ 7月22日

保育者からしたらおしゃれをする＝帽子や服をイメージして話していたが、こども達の中では紙袋からカバンを連想したり、レースペーパーや紙皿に絵を書き始めたりした。紙テープはテープでも紙で出来ていることに「紙なの!？」と驚いていた。何かを貼り合わせるだけでなく、色を付けるという役目としても使う姿があった。紙の特性や特徴を触れる中で習得していた。(柔らかい紙だから丸めてみよう等)



<振り返りによって得た職員の気づき>

・ 5月 いつもは、画用紙やその他の小さな紙で個人のお絵描きを行っているため、大きな障子紙での共同活動はととても楽しそうな表情を浮かべていた。

・ 6月 紙の触り心地や形など、こども達が触れてみて感じ取ったことを言葉にする子もいれば、言葉にはしてないけど感じたものがあり、それを制作で表現している子もいる。触ってみてどんなものを作りたくなったか個々に感じ方が違うのでそれぞれ違うものが出来上がっていた。

・ 7月 日頃の経験によって作るものが違うと感じた。普段小さい紙を扱っていることから大きい服や帽子といった身に着けるものではなく、バッグなどの小物を作る姿が多かったように感じる。大きい紙もロールで置いていたが使う子がいなかった。(自分で使いたい量を切れるようになっていた。)日頃の経験によって同じ内容でも年度の後半に行くと姿が違うかもしれないと思った。

様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	東京都北区桐ヶ丘 1-3-9-101
園名	桐ヶ丘保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然、色

<テーマの設定理由>

日常でのお散歩の中で表現活動を取り入れた時の、自然に溢れた場所で生まれる発見や表現を楽しむ

2. 活動スケジュール

11/4 きりんグループ（3・4・5歳児）

行先：自然観察公園

11/17 くまグループ（3・4・5歳児）

行先：自然観察公園

11/18 ぱんだグループ（3・4・5歳児）

行先：自然観察公園

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

自然物 + のり付きパネル、K クレイ粘土、マジックペン、毛糸・羊毛

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

室内ではなかなか育まれにくい視点、意識も、屋外に身を置くことで、全身を使って、全ての感覚・五感を使って、空気感、風の向き、冷たさ・気持ち良さを感じ、粘土や自然物を組み合わせた制作や表現を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

目的を持って素材を集める姿があり、ある素材の中で自身のやりたい気持ちを表現していた。自然物を探し集めてくるわくわく感もあり、材料探しから楽しむ様子があった。落ち葉が多い場所であったため、転倒には注意を呼び掛けながら、こどもの発見の嬉しさに共感していった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

3クラスがそれぞれ違った日に同じテーマで活動をしたが、それぞれ興味のベクトルが違った。素材が多いことで生まれる制作の広がりが見られるクラスもあれば、素材を自分達で探すことに面白さを見出し発想力を感じるようなクラスもあり、改めてこども達の柔軟性や自然の中で楽しむ心地よさをこども達の表情からみられ、継続していきたいと感じました。